

「食」で世界を攻める！

和食がユネスコの無形文化遺産に登録。日本－EUのEPA/FTAが大筋合意など、国内外で日本の「食」をめぐる状況は大きく変化しています。関西の経済再生を考えるにあたり、今回のシンポジウムでは、大きなポテンシャルを持つ第1次産業を基軸とした「食」と「食の海外戦略」について考えてまいります。

基調講演には関西学院大学と連携協力でかかわる大関株式会社から長部訓子代表取締役社長を、また特別講演には関西学院大学産業研究所と縁の深いアジア太平洋研究所数量経済分析センターの稲田義久センター長、関西学院大学と包括的連携協定を結ぶ日本貿易振興機構（JETRO）の菅根一朗大阪本部長をお迎えします。その後、パネルディスカッションを行い、具体的施策を探ります。

日時：2017年11月19日(日)13:00～17:00（受付12:30～）

※シンポジウム終了後、約1時間の交流会を開催

場所：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館 風の間

定員：200名（要事前登録、先着順、無料）

※交流会は、定員80名（要事前登録、先着順、無料）

<第1部>

13:00-13:05 開会挨拶 藤沢 武史氏（関西学院大学産業研究所所長）

13:05-13:45 基調講演「日本食文化の心、日本酒の心」

長部 訓子 氏（大関株式会社 代表取締役社長）

13:50-14:20 特別講演①「関西経済の成長とインバウンド」

稲田 義久 氏（アジア太平洋研究所数量経済分析センター長）

14:20-14:50 特別講演②「食のグローバル化とジェトロの役割 ～新輸出大国コンソーシアムの事例より～」

菅根 一朗 氏（日本貿易振興機構大阪本部長）

<第2部>

15:00-16:00 パネルディスカッション「食・グローバル市場、いかに攻めるか、呼び込むか」

登壇者：長部 訓子 氏（大関株式会社 代表取締役社長）

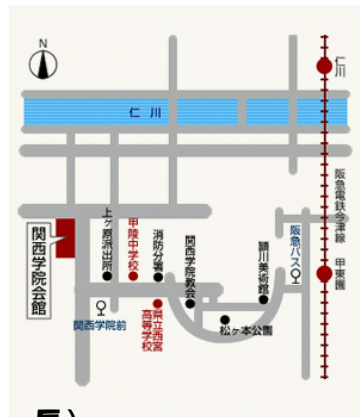
白方 健 氏（関西学院大学 国際学部4年生）

菅根 一朗 氏（日本貿易振興機構大阪本部長）

稲田 義久 氏（アジア太平洋研究所数量経済分析センター長）

コーディネーター：市川 顕氏（関西学院大学産業研究所准教授（SGU 担当））

16:00-16:05 閉会挨拶 安東 義隆氏（産経新聞大阪本社 編集企画室長）



申込方法：参加ご希望の方は、必要事項【①郵便番号、②住所、③氏名、④職業（会社名・学校名）、⑤電話番号、⑥交流会参加の有無】をご記入の上、E-mail または FAX にて 11 月 13 日（月）迄にお申し込みください。

E-mail：g-sinpo@esankel.com（グローバルシンポ係 宛） FAX：06-6633-2709（グローバルシンポ係 宛）

主催：関西学院大学産業研究所・独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）・産経新聞大阪本社

後援：経済産業省 近畿経済産業局・独立行政法人 中小企業基盤整備機構 近畿本部

お問い合わせ：産経新聞開発内「グローバルシンポ」係 TEL 06-6633-6834

～本セミナーは「新輸出大国コンソーシアム事業」の一環として開催します～